

第5回 新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会会議録（要旨）

会 議 名	第5回新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会
日 時	平成23年2月24日（木） 午後2時～4時
場 所	和泉中学校 視聴覚室
出 席 者	21名
次 第	1 プロポーザル実施状況について 2 小中一貫教育について 3 小中一貫教育の取り組みについて 4 その他
資 料	(資料1) プロポーザル実施要領（抜粋） (資料2) 杉並の小中一貫教育について (資料3) 協議会委員名簿

会長	これから第5回新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会を開催します。
教育改革担当部長	<p>2月12日の土曜日から区議会が始まりました。田中区長の下での最初の予算ということで、この新泉・和泉地区小中一貫教育校の設計費についても、議会でこれから審議をして進めていくところです。</p> <p>平成27年4月1日の開校に向けて、これからだんだんと形が見えてくると思います。特に、3月13日（※）には、和泉中学校の体育館を会場に、公開プレゼンテーションで設計業者を決めます。夢のある学校をこれからつくるための第一歩ということで、ぜひ大勢の方に見てもらって進めていきたいと思っています。ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。</p>
教育改革推進課長	<p><配布資料の確認></p> <p>本日は新泉小学校新1年生の保護者会と日程が重なってしまい、申し訳ありませんでした。日程調整を行ったにもかかわらず、区議会の開催期間中ということもあり、本日開催をせざるを得ない状況となったことを、お詫び申し上げます。特に新泉小の関係者の皆様、申し訳ございませんでした。</p> <p>本日の予定ですが、協議会の開催通知をお送りしたときには、この基本設計にあわせまして、建設基本方針についてご議論いただくという予定でございましたが、現在、プロポーザルによる設計事業者を選定している最中ですので、公開プレゼンテーションで事業者が選定された後、建築基本方針を決定していきたいと考えています。</p> <p>本日は、まず、昨年末に公表いたしましたプロポーザルの実施状況についてご報告をさせていただきたいと思います。それに続きまして、第3回目でもご報告申し上げましたが、杉並区の小中一貫教育について、統括指導主事から改めましてご説明をさせていただきたいと思います。その後、この間の小中一貫教育の和泉地区の取り組みについてご報告をさせていただきます。</p>
会長	それでは、新泉・和泉地区小中一貫教育校基本設計業務プロポーザルの実施状況について報告をお願いいたします。
教育改革推進課長	<p>前回も申し上げましたとおり、基本設計におきましては、区内の学校建築としては初めて、プロポーザル方式を導入しました。2月8日に募集を締め切り、最終的に17者から応募があり、先日、第一回選定委員会で4つの事業者が選定されたところです。公開プレゼンテーションでは、この4者がそれぞれプレゼンテーションをして、それに対して審査員が質疑を行い、その日のうちに事業者を選定します。</p>

	<資料1説明>
会長	設計業務プロポーザルの実施状況について、ご意見やご質問はございますか。
委員	特別支援学級と学童クラブを敷地内と小中学校内に設置するということですが、今の中学校の校舎内に入るといことは考えられますか。
教育改革推進課長	特別支援学級を設置する、という条件を設けていますので、その範囲で提案をさせていただいています。
会長	ほかにいかがでしょうか。
委員	新校舎の配置ですが、校舎の日当たりや芝生の日当たりなど、課題はたくさんありますが、校舎がどこに建ってもいいという条件で提案を受けているのですか。
教育改革推進課長	条件として出しているのは、和泉中学校は改修、つまり中学校の場所は動かさない、ということのみですので、あとは事業者が新しい校舎をどこに建てるか、校舎内をどうするかというのが提案の中身になっています。
委員	神田川の工事を行っていて、一応、施工の期間は1年ということですが、実際は1年半から2年ぐらいかかっています。計算していくと、こちらの工事と、学校の前の橋の工事が重なってしまうようです。今も木を動かしたり、通行止めをしたり、大々的な工事を行っています。工事が重なったときはどうするのでしょうか。
教育改革推進課長	プロポーザルは事業者の資質・能力を見る作業になりますので、事業者が決まり、実際に図面に落とし込んでいって、どのぐらいの期間でできます、具体的に工事期間はこうです、と決まったら、川沿いの工事と調整を図りながらお互いに無理のないよう、また、何よりこの学校の教育環境に極力影響の少ない方法をとっていきたいと考えています。
委員	車両が相当出入りすることになると思うので、大変なことにならないか懸念しています。
学校適正配置担当課長	逆に工事期間が同時になった場合、例えば双方で調整しながら、資材置き場として使うから通してくださいですとか、鉄板をはった川のところを通させてくださいですとか、調整を図っていきたいと思っています。
委員	工事の影響で、通学路も変えているので、安全対策には重々配慮していただきたいと思います。
委員	実施要領について質問があります。施設の規模に、30教室と諸室

	とありますが、P T A室は入っていますか。
学校適正配置担当課長	入っています。
委員	それは、小中一貫の大きなP T A室なのか、小学校用と中学校用になっているのか。新田学園では、とても大きなP T A室があったと思うのですが、それに加えて地域のためのP T A室がありました。
教育改革推進課長	実施要領では、部屋の大きさを指定するものではなく、あくまでもこのぐらいを目安にしてくださいということで出しています。P T A室は管理諸室になりますので、校長室や職員室、事務室、保健室、放送室などと含めて全体で9 0 0 m ² 程度を想定するという内容です。
委員	プレゼンテーションは公開するけれども、審査の決定権は6人の審査員のみなのですか。
教育改革推進課長	そうです。
委員	私たちが低学年の保護者やいろいろな方に見に来たほうがいいよ、と宣伝しても、参考意見程度の意見もとらずに、結果的に区の関係者だけで決めてしまったら、何のための公開プレゼンなのか、何のために保護者が行かなくてはいけないのか、と疑問に思います。在校生のお母さんたちやその他の方たちが興味を持たないのも、「結局、何を言っても結果的に全部区で決めてしまう」ということであり、本来の趣旨を理解してもらえないまま小中一貫教育が始まると、「じゃあ、小学校から私立に入れちゃおうかな」という親が出てくるかもしれない。地域に根づいたものをやるのであれば、もう少し住民に信頼を持ってもらえる方法をとってもらいたいと思います。
教育改革推進課長	企画提案書の審査には、建築の専門的な知識、それから、教育の専門的な知識が必要になります。極端な言い方になりますが、来場された方の投票で決めるとすると、ただ単にプレゼンがうまいところ、デザインがいいところに決まってしまう可能性はないとは断言できないため、専門知識を持って審査ができる方に区で責任を持ってお願いをしました。 通常、プロポーザルの審査会は公開していないのですが、今回はご要望もあり、地域の皆様に、学校がどのような過程で、こういう提案の中から選ばれたんだ、ということをご覧いただきたいと思いますので、ぜひともご理解ください。
会長	いかがでしょうか。
委員	このプロポーザルは資質を評価するということですが、選定後は、設計を一から始めてもらうのでしょうか。
教育改革推進課長	ゼロにはなりません。

委員	和泉小保護者のアンケート結果を前回報告しましたが、考慮いただけるのでしょうか。
学校適正配置担当課長	事業者が決定しましたら、その設計業者に協議会に出席してもらい、皆様からご意見をいただいて、それを踏まえて詳細な設計をつくり、それを2回ぐらい積み重ねていって最終的な基本設計をつくる形で進めたいと思います。その前段階として、保護者の方々からご意見を集約していただいて、できる限りそれを取り入れていくように考えております。
委員	<p>学校が長い歴史を終えて、新しい校舎というものがスタートするわけですが、人間ですから、思い入れというものがあります。設計が進んでいく段階において、地域の人たちとしてみれば、話に行くと聞いてもらえる窓口を決めておいてもらったほうが、住民としては安心します。</p> <p>このプロポーザルを完璧に理解している人はあまりいないと思いますが、どういうアプローチをしたら、自分の気持ちが実現されなくても伝わるのか、そういう仕組みを明確にしてほしいと思います。</p>
教育改革推進課長	この協議会は地域の皆様の代表から構成されていますので、皆様を通じてできる限り反映させていきたいと思います。まずは、今回のプロポーザルの企画提案書を基に、事業者が幾つか案を出して、それについてこの場で皆様のご意見をいただいていくという形です。
会長	この協議会がそのまま建設部会になるという、以前のスケジュールで進めるということですね。
教育改革推進課長	その予定です。
委員	協議会で意見を出し合って、決まったものは外へ出ていくということですか。
教育改革推進課長	最終的に基本設計ができ上がっていくということです。
委員	<p>前回の事務局の説明では、設計に関する基本的な考え方に「芝生化」という表現があったので、地域みんなの思いが伝わったかと安心していました。しかし、いざ公表された実施要領では、「エコスクール化とユニバーサルデザイン」という表現に変わっていました。もちろんこれらに「芝生化」が含まれていることは重々わかっていますが、この新泉・和泉地区にとって芝生は宝物ですし、この協議会で決めたものと異なるものが公にされたことにショックを覚えました。また、その点を地域の方たちからもご意見をいただきましたので、今後はこの協議会で決めたことが外に出ていくような形、あるいは大事なことはここで協議していく形を十分検討してください。</p>

教育改革推進課長	設計に関する基本的な考え方は、あくまで一つの条件、ハードルです。事業者は条件を踏まえて、現場を見て、芝生化されていることなどを理解して、提案をしてくれています。
委員	私たちが望んでいるのは、体操や、はだしで遊べる芝生を残してくださいということで、グラウンドの片隅に芝生があればいいというわけではありません。そのことが条件に明確にされず、芝生は残っているけれど全面ではなく一部を提案書に描いてきた事業者が選ばれることにはなりません。
教育改革推進課長	実施要領に寄せられた質問に対し、全面または一部を芝生化と回答しています。ただ、中学生が校庭を使う中で、果たして全面がいいのかどうかというのは、今後、設計を進めていく中で考えていくべきことだと思います。
委員	条件には入れず、どんなふう提案してくるか待っているのですか。
学校適正配置担当課長	応募してきた事業者は、全面もしくは一部芝生化で提案してくれていますので、その辺はご安心いただいてもいいと思います。ただ、今後、具体的に設計を進めていくなかで、中学生の踏圧をどう考慮していくか、全面にするのか、校庭のどの部分を残すかというのは、皆さんのご意見を踏まえて決めていただきたいと思います。
会長	他にありますか。(なし) 次に、小中一貫教育について、統括指導主事から説明をお願いします。
統括指導主事	<資料2説明>
会長	<追加資料(小中一貫教育ニュースレター)説明>
委員	<追加資料(小中一貫教育ニュースレター)説明> 表紙について紹介させていただきます。これは和泉地区にお住まいのデザイナーの方に一緒に考えてもらいました。2年前は、ブロック型のものでご案内を出していましたが、そのときは小中一貫教育で何から始めていいかわからないというような状況でした。ですから、とにかくいろいろなブロックを、いろいろなパーツを積み重ねてみよう、そうすると何か形ができるのではないかと、最後は三角のトライアングルの形にまとめてもらいました。 今回は、この1年間、たくさんのご取り組み、それらがいろいろな形でつながり、3校ももちろんですが、気持ちもつながってきたと感じたので、そこで、このハート形で3校の気持ちもつながってきたということを表してもらいました。そしてそれは光り輝くものだねということで、中からハートの形で光が湧いてくるようなイメージ

	<p>でまとめていただきました。</p> <p>この冊子はいろいろな学校に発信していきたいと思っています。</p>
会長	<p>中学校からすれば、それぞれの小学校を卒業した生徒たちが活躍している場を、例えば、和泉中の生徒の作品を新泉小で展示して、そこで認められているということ、その子に返してあげる。子どもにとっては、そういう場を持てたということだけでも心持が変わります。そういうことは伝えていかないとわかりません。</p> <p>やはり小中一貫教育を進める中で広がっていくことなのだと思うので、ここにいらっしゃる方のお力添えをぜひお願いしたいと思います。</p> <p>では、校長先生から、小学校と小学校の取り組みの説明をお願いします。</p>
委員	<p>子どもたち同士、学年同士の取り組みを進めているところで、さらに来年は交流を深めようと、6年生は毎月1回は新泉小学校と交流をしようという計画を立てています。一番大きなところに移動教室があります。準備も一緒に行いますし、中2日目はクラス・学校を解体してグループをつくって班行動をやってみようという計画をしています。当然、5年生の移動教室も事前の準備、それから当日の体験等も一緒に行う方向で進めています。今までも夜の交流会やレクリエーションなどは交流していましたが、実際の行動まで一緒にやりましょうということになりました。6年生は定期的に月1回、2時間ぐらいですが、2月まで実施します。5年生は学期に1回、4年生・3年生は学芸会など行事で交流させていきたいと思っています。</p> <p>教員同士は、3校合同研修会や小学校同士の研究会などを年間計画に組んでいて、その中で学年の交流、それから部会での交流を続けていくことで、先生たちの垣根が低くなってきて、お互いの顔が知れるようになり、ぎっくばらんに子どもたちの話をし、指導のことについても気軽に相談ができるようになりました。これから、その成果が子どもたちにどう返っていくかが楽しみです。</p>
会長	<p>小中一貫教育の報告会を3月9日の2時～4時に和泉中学校で行います。10部会それぞれから報告していただくのと、国立教育施策研究所の初等中等教育研究部長に来ていただいて、ご講評とご講演をいただきます。このような機会はないかなと思いますので、ぜひお越しください。</p> <p>今の小中一貫教育の取り組みについて、何かご質問、ご意見等がございますか。</p>
委員	<p>話は変わってしまいますが、今の和泉中学校の3年生が小学校6年</p>

	<p>のときに校庭にタイムカプセルを埋めました。多分あと10年は埋めておきたかったものだと思いますが、工事が始まると掘り起こす必要があると思います。彼女たちは今年、中学校を卒業してそれぞれに進学してしまうので、もし場所を変えさせるなら、今年集まって場所を変えさせるのがいいと思うのですが、もしくは今後、工事になるときにどこかに埋め直していいものなのでしょうか。</p>
学校適正配置担当課長	<p>工事は少し先ですので、大変申し訳ありませんが、一回掘り出して学校に一時的に置かせてもらって、ある程度校舎の配置が固まってから埋め戻すというのが安全かと思います。</p>
委員	<p>思いがこもっているものですから、このまま放っておいたらどうなるのだろうと、質問させていただきました。</p>
会長	<p>ほかにいかがでしょうか。(なし)</p>
教育改革推進課長	<p>お配りしている委員名簿の11番目の委員につきまして、町会長が交代されましたので、本日をもって委員交代ということでご承知おきください。</p>
会長	<p>そのほか、何かございますか。</p>
教育改革推進課長	<p>各団体から、最近の活動内容などを少しご紹介いただければと思います。</p>
会長	<p>学校支援本部からいかがでしょうか。</p>
委員	<p>「人が育ち、人がいきる地域づくり」。これは、杉並区が掲げているビジョンです。和泉地区は平成20年3月にいち早く活動を開始するべく支援本部を立ち上げました。また、この地区は3校合同ということで、杉並区で唯一の合同支援本部です。</p> <p>小中一貫教育の研究を進めている中で、学校支援本部というものがどんな役割を果たしていくか、最初は暗中模索でしたが、3年経ち、何かつかんだような感じがしています。</p> <p>言うまでもないことですが、幼児期を経て、小学校、中学校、高等学校、大学と成長していくわけですが、人間として最も基礎づくりの大事な小中学校の長期を一貫してはぐくむという、教育的に意味があることですが、保護者、地域の我々、そして教師が力を合わせて子どもたちの育ちのサポートをする仕組み、これがあって初めて達成可能なわけです。こういった私たち地域の大人が、今まで人生で築いてきた趣味やスキルを生かして、学校や家庭だけでは学習することのできないことを提供していけば、子どもたちの可能性は大きく開けていくのではないかと思います。学校支援本部はその取りまとめ役として各学校独自のプロジェクトやその他グループの活動しているプロジェク</p>

	<p>ト、そして学校をサポートする地域の人々やさまざまな学校支援グループのコーディネートを担っています。</p> <p>感動というものは、人を強くし、他人を思う優しい心をはぐくんでくれると思いますが、地域社会は大人も子どもも、この感動ということがあって、日々向き合って、初めて生き生きとしてくるのではないかと思います。</p> <p>地域で学校を支えるというときの地域というのは、第二のふるさととも言える地域のことを指すと思いますが、このふるさとで育った子どもたちが素直にたくましく成長する。この地域が長く続くことを祈っています。</p> <p>具体的には、学力・体力の向上に向けて、自学自習の手習い塾や体力向上に向けてのタグラグビーなどを実施しています。</p> <p>平成27年度、この小中一貫教育校が実現したあかつきには、地域参画型のさらに進んだコミュニティ・スクール・地域運営学校というような夢も抱いていますので、そのために一步一步進んでいるというのが実情です。</p>
委員	<p>具体的な事例は私から説明させていただきます。和泉地区学校支援本部は、3校で1つということに初めて取り組み、産みの苦しみと申しますか、最初はどうやって9年間の成長の違いというのを一緒にしていくかというところに苦慮しました。ですが、先ほど統括指導主事から説明があったように、どこまでも3校一緒に考えなくてもいいのではないかと、それぞれの学校の欲しているもの、こちらが提案したものに一緒に参加するという事で、それぞれの学校においてさまざまなプロジェクトを行っています。</p> <p>曜日などの違いはありますが、年間を通して、夏季放課後学習、図書、環境、パソコンなどのサポートを、3校それぞれの求めに応じて実施しています。</p> <p>イベントとしては、和泉小「赤ちゃん抱っこプロジェクト」というものがあり、それは6年生が赤ちゃんを通して命のつながりや成長の大切さを学びとることの学習として、地域の赤ちゃんとお母さん、お父さん方と一緒に遊んだり、抱っこしたりというひとときを過ごしています。子どもたちは事前の勉強をして、温かく子どもたちと接し、その半年後、子どもたちがその成長した姿を見るというプロジェクトです。</p> <p>今年行ったものでは、「親子で聞こう朗読セラピー」があります。これは平成20年3月から行っている親子フォーラムの一環として行っ</p>

	<p>ています。この地域は本当に本に親しんでいる子どもたちが多いのですが、さらに、音読や読み聞かせとは一味違った本とのかかわりを持ってもらおうということで、フリーアナウンサーのスイミーというところに朗読をしていただきました。</p> <p>先ほど委員から、体育的な活動として、タグラグビーの話が出ましたが、地域のお父さんたちの中にこういうことに熱心な方がいらっしゃるので、この先、和泉小が芝生を使えなくなり、前途多難ではありますが、少しずつ障害を乗り越えて、いろいろなところで地域の人たちが授業にかかわれるような、子どもたちのクラブチームのようにして、それを私たちが支えていきたいと思っています。</p> <p>新泉小学校では、既に2回開催していますが、「月と星を見る会」を行っていて、毎年本当に大勢の地域の方にお越しいただいています。これまでの2回は月と木星でしたが、次年度早々、今度は土星を見ようと計画しているところです。</p> <p>そのほかに、今まで先生方が行っていた和泉中学校の漢字検定と英語検定を学校支援本部で担当することになり、こちらも年3回、漢字検定においては小学校2校も参加しての取り組みを実際に始めています。</p> <p>もう一つ、和泉地区学校支援本部のホームページのサイトがオープンします。小中一貫教育校への指導とともに、地域の方たちや近隣校、地域団体と協力したりコラボレーションをしたり情報交換をしたりすることで、学校の地域力を高めるためにも、学校支援本部がサイトを運営することが必要不可欠となり、立ち上げることにしました。PTAや学校のサイトとリンクできるので非常に効果が出ると思っています。ぜひご活用ください。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、グリーンプロジェクト（以下、GP）からお願いします。</p>
委員	<p>GPは年間を通して主に毎週土曜日、お父さん、お母さん、保護者だけではなくて地域の方も集まって、春から夏にかけて芝刈りをメインに活動し、春には新1年生に対するイベント、夏にはコンサートを行っています。</p> <p>芝刈りは、年間50週あるうちの、春から夏にかけての20週ぐらいで、雨や学校行事によっては土曜日が活動できないときもありますので、20回ぐらい活動しています。今はちょうど、秋から冬にかけて芝生の成長もある程度とまっているので、特に外での活動というのは行っていません。しかし、昨年から冬も何かやってみましょうとい</p>

	<p>うことで、ペットボトルに芝生をつくって育てようというイベントを始めました。今年で2回目になり、1月に種植えをして3月にみんなで見せ合い、できばえを競い合うのですが、ただ作るだけでは面白くないので、飾りつけをしたり、観察日記をつけたり、例えば、何月何日に芽が出てきた、本葉が出てきた、水をあげた、ひなたに当てた、などを記録して、その観察日記も評価してみようと3月12日にコンテストを開催します。今年は気温が低かったり日照時間が短かったりして、なかなか厳しいところもありますが、そのような取り組みを行っています。</p> <p>もう一つ、いろいろ報告や発表をする場を持たないといけないなということで、広報としてWEBサイトの運営などを2年ほど行っています。土曜日の活動、イベントなどの報告などは、紙とあわせてWEBサイトで確認していただければと思います。</p> <p>WEBサイトにより、ほかの学校や地域の方、芝生に取り組んでいる学校や幼稚園、いろいろなところから問い合わせがあり、つながりもできました。この秋には、一人の学生さんから問い合わせが来て、自分のゼミで地域社会の研究をやっているので、インタビューをお願いしますということでいらっしゃったことがありました。</p> <p>この地区だけではなく、いろいろなところに広がったり、つながりができたりしていますので、先ほどの学校支援本部のWEBサイトとともに、ぜひホームページをご覧ください。春には新1年生を迎えるイベントも予定していますので、よろしくお願いします。</p> <p>それから、今年3月16日で芝生が丸10年になりますので、10周年のイベントを5月21日に企画しています。これもいろいろと情報を提供していきたいと思いますので、皆さん、お手伝いなども含めてよろしくお願いします。ご期待ください。</p>
会長	5月21日に芝生10周年のイベントがあるということですね。
委員	午前中は学校主催で簡単な式典や全員でのイベントを行って、午後はGP主催で行う流れになっています。よろしくお願いします。
会長	そのほかにいかがでしょうか。
委員	日程を調整するのは本当に大変だというのは十分理解していますが、次回はぜひともご配慮いただきたいなと思います。よろしくお願いします。
教育改革推進課長	本当に申し訳ありませんでした。
会長	5月22日のお知らせはよろしいですか。
委員	5月22日に新泉小の85周年の創立記念日があり、午前中にちよ

	つとした会を開いて航空写真を撮ろうと思っています。できれば地域の方たちにも参加いただけるような仕組みを考えていきたいと思っていますので、皆さんもぜひご参加ください。よろしくお願いいたします。
教育改革推進課長	次回の日程ですが、3月13日（※）に設計の事業者が決まりますので、それ以降、設計事業者も含めた日程調整となります。そのため、4月の開催を予定しておりますが、詳細につきましては、改めて調整し、ご通知申し上げますので、ご了承ください。
会長	以上で終わりにさせていただきます。

※平成23年3月13日（日）に開催を予定していた「プロポーザル公開プレゼンテーション」は、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により延期し、会場を和泉中学校体育館から視聴覚室に変更して3月26日（日）に行いました。